

WAからのお知らせ



花実の森に助成金約50万円

花実の森の活動に対し、今年度から「花王・みんなの森づくり」の助成金が、3年間で約50万円給付される見込みになりました。10月6日、都市緑化機構から主任研究員の小松尚美さんが実地調査に来校。申請テーマ「カブトムシの生育観察」について、堺理事長・菅田忠志代表からテーマの目的・花実の森の活動・カレッジの概要などを聴取しました。その後、整備が進む花実の森の散策コースを歩き、カブトムシの分校などを見学しました。

ジョイラックデーに「防災講座」

「大型災害に備えて」をテーマにした〈わ〉のスキルアップ講座が11月18日、カレッジ学習室で開かれ40人が参加しました。講師はひょうご防災特別推進委員・梶谷義昭氏。

阪神・淡路大震災の教訓をベースに、地震・火災・風水害・土砂災害時の「備え」、「安全対策」など、具体例を上げながら分かりやすく解説。参加者は熱心に耳を傾けていました。

●小畑副理事長・海野理事が講演 11月22日レイカディア大学（滋賀県老人大学）同窓会大津支部で、「シルバー世代の社会参加」をテーマに、〈わ〉のボランティア活動と東北支援活動を映像を交えて紹介。

「大変参考になった」「精力的な活動に感動した」と参加者に好評でした。

●ボラセンから4万円 入学式・学園祭で、グループ〈わ〉と共同で実施したサポート募金の一部、4万3千円が〈わ〉に寄託されました。賛同してくださったKSCの皆さまにお礼申し上げます。

●学園祭から3万円 学園祭実行委員会からこのほど、「活動費に役立ててほしい」と寄付がありました。前田均、宮本正弘両総務実行委員長には、堺理事長から「大切にに使わせていただきます」と謝意が伝えられました。

●廃部 ボランティアグループ わらべ（祇園明敏代表）は、部員数減少に伴い9月末で廃部となりました。

●訂正 68号1面の常磐大は常盤、13面さおり・たまも代表は永井照子、16面大正琴プリムラはSCクラブ大正琴の間違いでした。お詫びして訂正します。

●70号（4月号）の発行は2015年4月中旬です。

つぶやき

東北支援に参加して

今までボランティア活動にほとんど縁がなかった私ですが、グループ〈わ〉に入り、いかに沢山の人が、ボランティア活動を生き甲斐に人生を全うしているかを知り驚きました。

同時にシルバーカレッジの存在価値の大きさを改めて知りました。

一方、私が理事に就任した年は東日本大震災が起きた年でもあり、東北支援プロジェクトのメンバーとして支援活動に参加できたことは、良い経験になりました。2011年7月、第1次の派遣チームに加わり、65個の支援物資を4台の車に積んで14時間掛けて宮城県まで運び、その翌日から悪臭の田んぼに入り、汗まみれになってガレキを撤去する作業をやったことはいい体験になりました。

それ以降も、東北支援プロジェクトのメンバーとして活動を続けていますが、震災から4年が経過したとは言え、支援を必要とする被災者は沢山います。一人でも多くの方が支援の輪に加わって下さるよう切に望んでいます。支援募金もよろしく。（芦田義和・前理事、生15・北区会）

編集後記



★阪神大震災を契機に「再び学んで他のために」を実践する場として作られたグループ〈わ〉。「再び…」の大切さを教えて下さった今井学長は、昨秋お亡くなりになりましたが、故人の遺志をしっかりと胸に刻んで、震災シンボの講演原稿をまとめました。故人を偲ぶ会は2月8日に営まれます。（井口久美子）

★読者アンケート、「よく読む」が67%、「時々読む」を含めると96%。実施前、「よく読む」はよくて50%と予想していただけに、望外の喜びでした。みなさま、ありがとうございます。過去の先輩諸氏が、営々と積み重ねた努力が実りました。広報一同、今後も、よりよい誌面作りをめざします。（永野知己）

★ホームページの内容の見直し、多くの方々のご協力によりほぼ完了しました。これからは内容の充実注力しますので、ご協力の程よろしく願います。伝統文化体験教室で竹の台小学校や高齢社会フォーラムなどで取材に出かけ、学ぶことが多い日々でした。（岡本紘一）